

## 第11回まちづくり市民会議議事録

- 日時 平成22年2月18日（木） 午後6時30分～午後8時30分  
■場所 太田市役所10階 政策推進会議室  
■出席者 西村会長、福田副会長、秋山委員、窪田委員、新藤委員、高倉委員、  
棚澤委員、塚田委員、奥川係長代理

(委員8名、市1名)

### 【概要】

#### 1. 産業（商業・工業・農業・お土産・食文化）

- ・塚田チーフの司会で進め、各委員から事前に提出された意見をもとに会議を進めた。
- ・工業は生産高（製造品出荷額等）が県下第1位になっており、テクノプラザおおたを整備した。
- ・商業は東西に大型SCがあるが、街中は空洞化が進んでおりシャッター通り化している。
- ・農業は「こだま西瓜」「大和芋」「小麦」「イチゴ」などの特産品がある。
- ・お土産はスバル最中などの菓子や地元の工芸品、ニット製品、銘柄酒がある。
- ・食文化で主な料理は「上州ほうとう」「大和芋料理」「南北朝うどん」「焼きそば」「焼き饅頭」である。
- ・現状の課題は、①自助努力の欠如、②社会貢献活動の希薄、③観光施策の不統一④キャッチコピーの不足などの特徴が挙げられる。
- ・あるべき姿としては、①市民参加、②異業種産業とのコラボレーション（共同制作）、③観光業の確立、④リピーターの確保が必要である。
- ・提言としては、①体験、滞在、ものづくり観光の開発、②名物品の開発、公募、③イベントのコラボレーションの推進、④販売所の新設（道の駅）などが考えられる。
- ・その他、委員から出された主な意見は次のとおり。
- ・イチゴ狩りや大和芋を使用した名物料理の開発を推進しても良い。
- ・ファミリーレストランが主流であり、特筆すべき食文化は無いと考えられる。
- ・公募など市民参加の導入で、名物品の開発をすることが考えられる。
- ・観光は回遊型や滞在型が主流になりつつある。
- ・中小企業地域資源活用促進法で太田市の地域資源として登録されている項目は、「紅小玉スイカ」「尾島のやまといも」「メリヤス製品」「ニット製品」「やぶ塚温泉」などである。
- ・太田市は富士重工を抜きにしては考えられない。富士重工の工場見学を観光に生かしても良いのではないか。
- ・富士重工の工場見学コースと共に、北部運動公園に建設が予定されているエコハウスの見学も観光コースに組み入れることが考えられる。

- ・富士重工や清掃センターの見学は有効であるが、多くのリピーターは期待できない。
- ・提言は、全ての項目を検討するには時間が足りないため、項目を絞って検討した方が良い。
- ・尾島地域に「道の駅」の建設が予定されているため、「道の駅」の提言を検討したらどうか。
- ・「道の駅あり方検討会」が観光案内機能の充実や空き施設を活用した増設など6項目の提言を群馬県に答申した。
- ・道の駅にリピーターが行くような仕掛けがあれば良いのではないかと。

## 2. その他

- ・次回の会議で道の駅担当課の農業政策課が、道の駅建設計画の概略について説明する。
- ・産業（商業・工業・農業・お土産・食文化）について、引き続き検討する。
- ・各委員は3月12日（金）までに「歴史（産業遺産、文化遺産）」をテーマにレポートを作成し事務局へ提出する。
- ・次回の会議で事務局は、第1期まちづくり市民会議の提言を検証した資料を委員に提示する。

### 【次回の会議】

日時 3月18日（木） 午後6時30分～  
場所 太田市役所10階 政策推進会議室